

みんなの 市議会

特集・議会を傍聴して	1・2
第2回6月定例議会概要	3
第2回伊達市議会臨時会概要	4
一般質問	5~7
委員会報告	8・9
議長諮問	10
編集後記 他	11

市民プール新築工事に 9億9,823万5千円(電気・衛生設備含む)

第68号 2012.8.1

平成25年11月完成予定・平成26年4月OPEN予定



はつらつママさんバレーinだて



総合体育館の 開館事業

河合俊一さん、
吉原和子さんなど
ドリームチームと熱戦



※ひだまりの杜 代表 菅野佐千代
(連絡先 090-6871-8960 HP http://ameblo.jp/hidamari-no-mori/)

議会を傍聴して

今号より不定期となりますが、市民の皆さんに議会傍聴をお願いして、その後の感想や市政に対するご意見を伺うコーナーを設けました。開かれた議会への取り組みの環として広報特別委員会で企画したものです。どうぞお読み頂き、感想やご意見などお寄せ下さい。
なお、第二回目は、がん患者さんのためのボランティア活動をされている「ひだまりの杜(菅野代表)」の皆さんに六月十八日の一般質問を傍聴して頂き、その後、日をあらためて感想やご意見を伺いました。

◎傍聴をされた感想は？

●菅野さん

傍聴している方が意外に多かったですね。適切な表現かはわかりませんが、楽しくて勉強になりました。議員の方々は勉強して議会に臨んでいると感じて、このことはもつと市民に周知できたらいいと思います。そのためにもネット中

継は必要です。一人ではなかなか行けないし、興味のある議題がある時にネットで見られるというのは議会と接しやすくなると思います。

◎今回お聞きになった一般質問で興味のある内容はありますか？

●菅野さん

がれきの問題は気になりました。心情的に助けてあげたいと思っ

ていましたが、心情のみで動いてはいけない部分があると勉強になりました。

●小野寺さん

がれきの問題は、他人事ではなく、自分にも関わってくる問

私は横にいる
近くの人を助けたい



ひだまりの杜
代表 菅野佐千代さん



ひだまりの杜
吉田利香子さん

●は「ひだまりの杜」の皆さん
◎は議会広報委員

題ですから全体で考えていくべきだと感じました。

●吉田さん

震災がれきの答弁に際して、理事者側の答弁が他人事のように聞こえ、真剣さが感じられませんでした。

◎ごみ処理は広域で行っているの
で答弁も他人事のように聞こえる
のですね。傍聴される方にもわかり
やすい答弁を心がけるよう行政
側に伝えます。

◎みんなの市議会はご覧になって
いますか？

●読んでいます。

◎どんな内容に関心がありますか。

●そうですね、福祉やボランティア
活動に関することですかね。あと
同級生が議員になったので、今まで
より読むようになりました。(笑)

行政視察の 受入れ状況

平成24年5月1日から
平成24年7月31日まで

来訪議会

- 高知県 安芸市議会
- 兵庫県 姫路市議会
- 北海道 比布町議会
- 福島県 喜多町議会
- 福島県 小野町議会
- 福島県 丸亀市議会
- 香川県 串間市議会
- 宮崎県 高橋市議会
- 茨城県 茨城町議会
- 福島県 川俣町議会
- 福島県 各務原市議会
- 岐阜県 一宮市議会
- 愛知県 新居浜市議会
- 愛媛県 佐倉市議会
- 千葉県 水戸市議会
- 茨城県 東松山市議会
- 埼玉県 東松山市議会
- 東京都 加茂市議会
- 新潟県 加茂市議会

視察項目

- 次世代エネルギーパーク
- コンパクトシティ
- 農業振興
- もしかしてネット
- ウェルシーランド構想

◎これまで以上に読んでもらえ
る広報紙にするためには、どんな工
夫が必要だと思いますか。

●目次をわかりやすくするのは、
親切だと思います。また縦書きは
かりだから、横書きがみやすいの
では。私の住んでいる自治会は横
書きで読者が増えた。あとはポイ
ントを整理することで読みやす
くなるのでは。

◎みなさんは伊達市に住んでど
んなところが良いと感じています
か？

●伊達の良さは、伊達市に住んで
いると、なかなか気づけなかったが、
他のまちをみると伊達市の良さに
気づきます。

おじいちゃんおばあちゃんに優
しいまちだと思う。ただ定年退職
された年配者ばかりではなく、若
者が住めるまちにしてほしい。だ
から行政には若者が来れるよう
がんばってもらいたい。

それから、がんの病気に対して
もっと理解してほしい。もっとやさ
しくなって、メンタルの部分での支
えを考えてほしい。

◎福祉のまちと昔からいわれてい
るが、まだまだ十分ではないとい

ういふゆえか？

●そうだと思う。例えば、がん対策
ひとつとっても、伊達市独自で対策
はできないのか？国全体のこと
ではなく、私は横にいる近くの人を
助けたい。だからこそ、伊達市独自
のものをつくっていかへきだと思
う。

◎ひだまりの杜の活動は、がんを
患っている方を支援することとお
聞きしましたが、どんな思いで、ど
んな活動をされているのですか。

●確かに、がん患者さんとの距離
感は難しい。がんになることで体
調は三六五日悪いわけではないけ
ども、がんということ疎外感を
感じてしまう人もいる。

私たちは、がんの人のために帽
子をつくることをしている。病気の
人のための団体が少ないので頑
張っていますが、皆さんが自然と協
力してくれて一年半活動を続け、現
在は五〇人くらいの規模になりました。
会費からは何かしてあげた



ひだまりの杜
小野寺真弓さん

いけど、その術がなかった。という
団体があつて協力できるよつになつ
てうれしい」という声も聞きます。

◎会員の年齢構成は？

●二六歳〜九二歳まで幅広く家族
で参加してくれる方もいます。

◎活動は、いつ行っているのですか。

●帽子作りは月一回第一、四土曜
日にみらい館でやっています。また
依頼があれば、出張での活動も行っ
ています。

◎会費や企業からの支援は？

●善意で来てもらっているので、会
費は徴収していません。タオルを
寄付してくれる方もいる。タオル
を縫ってくれるのも全てボランティア。
材料となるタオルは、京都のタ
オル屋さんから送ってもらっている。
アウトドアブランドのモンベルさ
んからもフリースを送ってもらった。
協力企業が近隣でないのが悲しい
ですが、私たちの広報も足りない
のかもしれないと感じています。

◎議会でも、皆さんの活動を紹介
してどんな支援ができるか考えて
いきたいと思ひます。今日はあり
がとつございました。

北黄金貝塚
アートビレッジ構想
総合体育館
木質ペレット
防災公園

**人事案件について
市長提案に
同意しました。**

監督委員の選任
菊池勝義氏

市政功労者の表彰
河野達夫氏

自治功労
近江文夫氏

産業経済功労
西口典子氏

社会福祉功労
今井裕子氏

教育功労
森谷典久氏

渡邊一久氏

防災功労
三戸部正修氏

遠藤正二氏

白石修一氏

三戸部正修氏

櫻井和幸氏

若林幸雄氏

伊藤保雄氏

第2回 6月定例議会概要

平成24年第2回定例会は、6月12日から6月22日までの会期11日間で開催されました。

今定例会に提出された議案は、市長提出議案11案件、市長提出追加議案1案件、諮問1案件、報告1案件で、常任委員会でも審議され、いずれも原案のとおり可決しました。



◎産業民生常任委員会（詳しくは8ページを参照して下さい）

議案

- 工事請負契約の締結について(防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事)(建築1工区)
- 工事請負契約の締結について(防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事)(建築2工区)
- 工事請負契約の締結について(防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事)(空調設備)
- 財産の取得について(仮称・市営住宅駅前団地1号棟の取得)
- 西いぶり広域連合規約の一部を変更することについて
- 市道の路線の認定について
- 伊達市印鑑条例等の一部を改正する条例
- 伊達市公共下水道設置条例の一部を改正する条例



市営住宅駅前団地1号棟

◎平成24年度一般会計補正予算

議案

- 平成24年度伊達市一般会計補正予算で、**7,784万2千円**を追加しました。
- 平成24年度伊達市一般会計予算の補正後の歳入歳出の総額はそれぞれ**175億894万6千円**となります。

事業名	予算額	事業概要
西いぶり広域連合負担金	113万3,000円	西いぶり広域連合の訴訟費用の伊達市負担分。
自治会館建設費補助金	600万円	東第13区自治会館新築追加補助金500万円 東第4自治会館水道修繕工事補助金100万円
放課後児童対策事業	280万2,000円	有珠小学校のプレールームを放課後児童クラブとして利用できるよう設備の設置をおこなう。
だて農業ビジネス研究会補助金	300万円	伊達市における新しい農業経営のあり方、具体的課題を研究・提言する目的で設立する研究会への補助金。
堆肥センター維持管理費	501万円	土壌脱臭装置の土の入れ替えをおこなう。
商店街近代化事業補助金	65万3,000円	駅前商店街振興組合の駐車場整備事業への補助金。
河川維持管理費	800万円	5月3～4日の大雨による紋別川、谷藤川の護岸崩壊等の復旧工事をおこなう。
竹原通外1街路整備事業	400万円	竹原通未整備区間を整備するための概略設計をおこなう。
防災公園だて歴史の杜整備事業	2,000万円	国の社会資本整備総合交付金、合併特例債を活用し、園路の整備をおこなう。

□諮問

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
(大越郁夫氏の再任について同意しました。)

□報告

- 平成23事業年度伊達市土地開発公社事業報告書及び財務諸表について

■第2回 6月定例議会で可決された意見書

- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充にむけた意見書
- 北海道教育委員会「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子供の実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- けいれん性発声傷害(SD)の研究・治療等の推進を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書
- 「骨格提言」に基づく障がい者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書
- 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

第2回 伊達市議会臨時会概要

平成24年第2回臨時会が、5月28日開催されました。

今回提出された議案は、

- 伊達市税条例及び伊達市都市計画税条例の一部を改正する条例
 - 固定資産評価員の選任について
 - 平成23年度伊達市一般会計補正予算
(地方交付税4億5,801万4千円などの増額補正。補正後の総額は193億2,744万3千円)
 - 平成24年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算
(平成23年度の国保会計に歳入不足が生じたため、平成24年度予算に4億8,200万円を繰上充用金(注)として計上し歳入不足に充てるための増額補正。補正後の総額は55億8,631万3千円)
- (注) 歳出は当該年度の歳入をもって充てるとする地方自治体の会計年度独立の原則の例外であり、地方自治法施行令第166条2で地方公共団体にのみ認められている決算の方法です。
- 平成24年度伊達市一般会計補正予算(1,187万7千円増額。補正後の総額は174億3,110万4千円)

事業名	予算額	事業概要
林業施設災害復旧事業	216万3,000円	5月3～4日の大雨による大滝区の林道の決壊等を復旧するための測量設計。
防災公園だて歴史の杜整備事業	650万円	宮尾文学記念館の国道側に駐車場を新たに造成する。
総合体育館備品整備事業	321万4,000円	総合体育館施工の9共同企業体より、備品購入のための寄付があり、備品の購入。

■行政報告

5月3～4日の大雨による市道や河川、林道、文教施設、水道などの被害状況の説明があり、現在復旧に向けての対応や実施のほか、北海道などへの要請も行っていると報告がありました。

平成24年 第2回定例会 一般質問



6月18日(月)・19日(火)

(質問・答弁は質問者本人がまとめたものです)

吉野 英雄 議員

無党派

問 放射性物質を含むんだガレキの焼却・処分について安全性はもちろん、農漁業、観光など風評被害が懸念される。そこで市民への説明、意見集約方法を問う。

答 広域連合での判断内容を見極め、対応を検討する。

問 メルトタワーでのセシウムの濃縮率の試算及び通常時の排煙など放射能測定の実績について問う。

答 濃縮率の試算は行なっていない。また、放射能測定を実施した経過はない。

問 文科省はクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助対象費目に追加したが、市の対応について問う。

答 制度運用は自治体の裁量に委ねられており、未実施である。近隣市の動向を見たい。

問 保育所、幼稚園等の耐震化について問う。

答 有珠保育所について、財政状況を踏ま

え、建替えも検討して行きたい。



西いぶり広域連合のメルトタワー

辻浦 義浩 議員
市民クラブ

問 学校の安全対策について問う。

答 全ての小中学校に対して三回にわたり、通学路指定の状況及び危険箇所について調査を実施。今後、学校・保護者・道路管理者及び警察による合同点検を実施し、対策が必要な箇所は関係機関への要望を行っていく。

問 伊達市のイメーリアップ（ゆるキャラ製作）について問う。

答 市が直接手掛けるより、だて観光協会などが中心となって検討してほしい。

その他の質問
● 総合公園「だて歴史の杜」について（各施設の利用者への対応について）
● 青少年の健全育成について（青少年赤十字の推進について）



子供たちの安全を守る地域ボランティアの方々

犬塚 貴敬 議員
新政クラブ

問 若者に対する雇用支援と移住定住について問う。

答 今日の雇用状況の悪化は経済状況が背景にあると考えている。

当市においては、景気対策や営農支援といった視点から予算措置を行ったところである。

問 心の伊達市民の登録状況。そして、これに工夫を加え、成人式などで若者へPRすることは可能か問う。

答 心の伊達市民の登録状況は、平成二十四年五月末現在で一、三六七人で、道内が二七三人、道外が一、〇九四人となっている。
また、成人式等で若者へのPRに対しても検討していきたい。

問 農業漁業への支援状況と今後の対策について問う。

答 農業漁業いずれにしても経営体質の改善や効率化による収益性を高める必要があると考えているので、そのために必要な支援は行ってきたい。また、農業においては地産地消を広め、伊達の更なるイメージアップを図りたい。

また、漁業についても引き続きブランド化を含めた支援策を講じる。



菊地清一郎 議員
市民クラブ

問 「伊達市水道ビジョン」において、今後十年間の水道事業の方向性についての「業務指標（PI）」による課題と問題点を問う。

答 (1) 水源涵養林保護のため、水源保全地域指定が必要である。

(2) 緊急時、他水系からのバックアップ体制を整備し、来年度、水道事業耐震化計画を策定する。

(3) 「二〇二五年からの経常赤字予想」は、計画的設備投資を行い長寿命化を図り、補助事業の有効活用等、回避方を検討する。

(4) 「水源涵養林保全」について四ヶ所の集水区域を「水資源保全地域」として道に提案する。

(5) 「だて歴史の杜」は緊急給水拠点として重要であり、今後一〇〇m程度の緊急貯水槽を設置する。

問 道条例施行に伴う「水資源保全地域の指定」推進を問う。

答 今年十月の第一回指定に向け、北黄金町の気仙川上流域約一haを道に提案し、協議している。



北黄金浄水場

※業務指標（PI）
Performance Indicatorとは平成十七年一月に日本水道協会より、日本水道協会規格（JWWA1000）として、「水道事業ガイドライン」が発行されました。その中で業務指標は一三七項目設定されており、様々な業務効率を定量的な指標で表現し、数値の推移や他都市と比較することで問題点の把握、目標や施策の決定等に活用することができます。

小久保重孝 議員
市民 21

問 カルチャーセンターの管理コストと使用料収入について問う。

答 同施設の管理コストは二十三年度で億一三万円、使用料収入は八二五万円となっている。

問 管理コストの見直しについて問う。

答 次期指定管理契約に向け、指定管理の方法など検討する。また保守点検等の委託料や光熱費など削減について指定管理者に要請する。

問 おおたき合宿村構想のさらなる推進について問う。

答 二十三年度のモニターツアーの実績や関係者の意見を参考に施設整備の方向性など推進

策を検討していく。

●その他の質問
・七％節電への取組みについて
・環境美化推進委員制度について



おおたき合宿村モニターツアーの成果を報告するパンフレット表紙

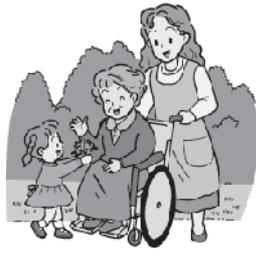
原見 正信 議員
公明党

問 高齢者の生きがいづくりのため、介護ボランティアポイント制度の導入について問う。

答 伊達市社会福祉協議会と協力しながら検討を行うと共に、実施している他の自治体の事業効果や事務コスト等を検討し、導入の可否を検討していく。

問 高齢者の子育て
家庭への支援につ
いて問う。

答 シルバー人材セン
ター等で行っている
子育て支援事業につ
いて一層の周知を図り、子育
て家庭に対し、どのよう
なニーズがあるのか調査
し、関係機関と連携して
高齢者と子育て家庭との
世代間交流が図れるよう
に推進していく。



問 地域ブランド新
登録制度の導入に
ついて問う。

答 登録による経済効
果は非常に大きい。
今後、農協など関係団
体と鋭意検討していく。

山田 勇議員
市民クラブ

問 市道山下川沿線
の改良整備につ
いて問う。

答 駅周辺の整備計画
から、将来の交通量
と住民の意向を踏まえ、
整備のあり方を検討する。

問 西通り線の標識
について問う。

答 分流橋から道道滝
之町伊達線までの区
間を今年度から社会資本
整備交付金で道路整備を
行い、わかりやすい案内
標識を設置する。

問 津波災害対策に
ついて問う。

(1)道作成の伊達市津波
浸水予想状況。
(2)住民避難訓練の方策。
(3)津波時の漁船との無
線連絡。

答 (1)平成二十三年度
末に道から示される



わかりやすい案内標識が求められる西通り線

予定がまだまだ示されず、
道に対して速やかな公表
を求めると共に沿岸地域
全体の津波対応策につ
いても要請している。
(2)今秋、西浜・館山下地
区の避難訓練を予定して
いる。
(3)交通手段の喪失回避に
向け、いぶり噴火湾漁協
や関係市町と協議を進め
ていく。

大光 巖議員
公明党

問 西浜地区住民の
津波避難所にもな
るJR伊達紋別駅構内
の自由通路の整備と高
齢者・障がい者の利用
の観点から伊達紋別駅
舎との一体化につ
いて問う。

答 自由通路のエレ
ベーター設置と駅南
側に集会所や広場の整備
について平成二十七年
度の完成を目指す。
また列車を利用する際
は、人道橋の階段を上る必
要があることから、高齢
者等に優しい駅舎整備に
交付金などで協力して
もらえるよう国に要望
していく。

問 市街道路の袋地
解消策と街路整備
の促進について問う。

答 私道を市道に認定
する基準の見直しや、
市道認定に至らない私道

の舗装化に向けた取り組
みを検討しており、袋地
の解消策も自治会の要望
があれば検討していく。

●その他の質問
・有珠湾の防潮堤の嵩上
げについて
・館山の避難道の整備に
ついて
・市道旭ヶ岡線の整備と
用水路の整備について



一日も早くバリアフリー化を望まれる伊達紋別駅の連絡橋



委員会報告

産業民生常任委員会

委員長 原見 正信

■「工事請負契約の締結について」

○防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事（建築一区）

○防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事（建築二区）

○防災公園だて歴史の杜室内プール新築工事（空調設備）

予定価格が一億五千万円以上の工事請負契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▼工期はどのようになっているのか。

答弁▼工事の着手は本年七月を予定しており、完

成は平成二十五年十一月末となっている。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

■「財産の取得について」

（仮称）市営住宅駅前団地一号楼

予定価格が二千万円以上の不動産の取得に係る契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

質疑▼建築物の保証規定等はあるのか。また、その場合の保険の負担はどのようになるのか。

答弁▼現在、住宅を建てる場合は、瑕疵担保保険に加入することになっており、保証期間は十年で、建物に瑕疵があった場合は、保険会社から瑕疵の分を補修する工事が支払われることになる。施業者が、その保険に加入

することによって瑕疵を補修することになる。瑕疵担保保険料は買い取り価格に入っている。

質疑▼屋上及び二階コモンスペースに、転落防止の追加措置が必要ではないか。

答弁▼現状でも、意図的に飛び越えない限り転落防止の役割は十分に果たせると考えるが、住民の入居後に状況を見ながら検討していく。

質疑▼正面玄関がわかりづらいと思われるが、看板などを設置してわかりやすくしないのか。

答弁▼今後使用していく中で表示について検討していく。

質疑▼完成引渡し検査は、どのようにして行われたのか。

答弁▼伊達市公営住宅駅前団地C地区買取り事業に関する協定書に基づき、設計書の定めにより、五月十一日に伊達市住宅課長が検査を行なった。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

■「西いぶり広域連合規約の一部を変更することについて」

「住民基本台帳の一部を改正する法律」が平成二十一年七月十五日に公布され、平成二十四年七月九日に施行されること及び外国人登録法が廃止されたことに伴う西いぶり広域連合規約の一部を改正するもの。

審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

■「市道の路線の認定について」

（ホロホロ山線 大滝区上野町一三二一 一から大滝区上野町二三六一 までの八四五m）

道路法の規定により市

道の路線の認定について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▼幅員が5mとなっており、狭いところには待避所があるが、双方向の通行など安全性の問題はないのか。

答弁▼通常、幅員は5mで待避所は三〇〇mおきに七ヶ所ある。また、幅員10mの車回しを二ヶ所設けている。通行については待避所を利用することで問題は無い。

質疑▼交通量はどの位なのか。

答弁▼ホロホロ山線の終点側に、ホロホロ自然休養林に指定された区域があり、駐車場、多目的広場を日中、十台程度、利用されている。

質疑▼雨水の排水、照明、標識等の状況はどのようになっているのか。

答弁▼雨水については道路沿いに側溝があり、標識類については、待

避所・車の回転所については設置している。照明は設けていない状況で、今後も設置する計画はない。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものとして認められました。

■「伊達市印鑑条例等の一部を改正する条例」

「住民基本台帳の一部を改正する法律」が平成二十一年七月十五日に公布され、本年七月九日に施行されること、及び外国人登録法が廃止されたことに伴う関係条例の一部を改正するもの。

審査の中では、

質疑▶改正による伊達市内の対象者への周知は、どのように行われてきたのか。

答弁▶対象者は五月末日現在で、一一〇名。対象者へは、個人に対し確

認事項があり、郵送又は会社等を通じて説明を行い、仮住民票の作成にあたって要綱の確認を行った。広報誌による周知は、五月号と

質疑▶今回提案された五つの条例の他に、外国人登録に関係する条例及び規則の整理はできているのか。

答弁▶他の課とも協議が済んでいる。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものとして認められました。

■「伊達市公共下水道設置条例の一部を改正する条例」

市街化区域に隣接する市街化調整区域の下水道整備を図るため、その認可区域を拡大するとともに、今後の人口減少を踏まえ、計画人口を修正す

るための条例の一部を改正するもの。

審査の中では、

質疑▶今回、認可区域を増やしたことによる増減する計画人口はどの位なのか。

答弁▶今回三六・五ヘクタール増えたことによる、人口の内訳は、約二五〇件で五〇〇人が増えるが、総体での人口は減っている。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものとして認められました。



常任委員会
所管事務調査報告

総務文教常任委員会
委員長 国本 一夫

《四月十八日水》

◆伊達市特別表彰規則の制定について

本市出身の藤田貴大氏たけふひろが演劇会の芥川賞あきくわいとも呼ばれる、岸田國士戯曲賞くさきを受賞されたことを受けて制定される伊達市特別表彰規定について説明を求め、被表彰候補者の基準等について、調査を行いました。

◆伊達市名誉市民に関する条例施行規則の改正について

同規則に定める推せん基準各号の規定の見直しについて説明を求め、名誉市民の資格要件について調査を行いました。

◆小規模集会施設・自治会館の整備方針について

社会情勢の変化と市民ニーズに対応するため、これまでのコミュニティセンター整備中心の「公共集会施設等整備方針」を廃止し、市民にとってより身近な集会施設を整備することを目的とする「小規模集会施設・自治会館整備方針」の制定について説明を求め、建設費補助金交付要綱について調査を行いました。

《六月二十日水》

◆包括外部監査制度導入に向けての考え方について

平成九年の地方自治法改正により創設された外部監査制度について、制度の内容について説明を求め、外部監査制度のうち包括外部監査導入に向けての考え方や今後のスケジュールについて調査を行いました。



議会改革に関わる議長諮問について

●●提案された議長諮問の項目●●

1. 予算・決算審査特別委員会における質疑の事前通告制の導入について

事前に質問項目を各議員が行政側に伝えておくことで、より深い議論ができることなどが利点とされる一方、議会と行政側の緊張感が薄れることや議員の自由な議論の制約につながる恐れもあるのではとの指摘もあります。

2. 予算・決算審査特別委員会の常任委員会化について

同特別委員会を開催するにあたって毎度正副委員長を互選することになっていますが、議会三役は勿論、常任委員長など役を担っている議員から選ぶことができないため、できる議員が限られています。常任委員会化することで、2年間は同じ正副委員長がその任を担うということとなり、互選の手間などを簡素化できると考えられます。

3. 先例集第8章「質問」第1節第10項の見直しについて

現在議会三役(議長、副議長、監査)は一般質問を行わないとする伊達市議会の先例集を見直し、副議長については可能とし、より議論を活発にしようとするものです。一方、議長に事故があった場合は副議長がその任に当たることから、こうした点についての取扱いが課題といえます。

4. 常任委員会の月例化について

議員数削減に伴い常任委員会が3から2となり、所管事項も増加しました。現在、年間計画により所管調査を実施していますが、閉会中の活動だけでは限定される状況があり、月例化をはかることで政策課題の調査・議論をタイムリーに行えるようにするものです。

5. 議会費予算の見直し(委員会行政視察の隔年制の廃止)

常任委員会での視察は現在2年に1度と決めています。これを年1回にする提案です。平成15年以前は年1回だったものを財政健全化と合併による一時的な議員増に対応して隔年制にしていたものです。予算に関することなので、賛否両論ありますが、議会からの政策提案のために必要との意見や年1回に戻すのであれば、市民への報告をもっと詳細にすべきだとの意見もあります。

6. 広報特別委員会のあり方について

①議会だより臨時号の発行

現在年4回発行している議会だよりに加え、臨時号を発行できるようにする提案です。これによりタイムリーな報告ができるようになると考えています。

②広報特別委員会の常任委員会化

常任委員会にすることで、その権限や予算をもたせて広報機能を充実することができるのではと考えています。

③広報紙及びホームページ掲載内容の見直しについて

現在の議会だよりの内容やホームページを使った広報をより良いものに変えていくために理想の姿を模索し、それを実現するための方策について検討するものです。

7. 議会の広聴活動のあり方について

開かれた議会の一環として広報活動の他に市民への広聴活動をしてはどうかという提案です。登別市などが行っていますが、年に何回か議会主催で市民に議会報告をするものです。

8. 議会中継システムの導入について

議会にカメラを設置して、インターネットを通して質疑の内容がわかるようにするものです。議会開催中リアルタイムで見られるだけでなく、夜なども録画された動画を見られるようにするものです。

これまで何度も議論を重ねてきましたが、「時期尚早」「費用がかり過ぎる」などの意見があり、実現しませんでした。最近は議会改革に積極的か否かという点でこの議会中継がない議会は改革に後ろ向きとの評価も出ていて、導入が急がれています。

伊達市議会では、これまでも議員定数の削減など議会改革の取り組みを進めてまいりましたが、今回寺島議長から以下議会改革項目について議会運営委員会(以下議運)に1~6及び8について、広報特別委員会に7について諮問が提出されました。

これを受けて議運では9月中には一定の結論を見出し、条例改正が必要な事柄については12月に提案をして、来年から取り組めるよう議論をすることとなりました。

議論の内容や結論につきましては次号以降で報告いたします。

議会運営委員長 小久保重孝

発行／北海道伊達市議会 編集／広報特別委員会 〒052-024 伊達市鹿島町20番地1 TEL 0142-23-3333 FAX 0142-23-1206 gikai@city.date.hokkaido.jp

お知らせ

Information

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、9月6日から開催され、一般質問は9月12日と13日を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

写真募集

伊達市議会広報誌「みんなの市議会」では表紙の写真を募集しています。詳しくは議会事務局へお問合せください。

議場・第1会議室 音響システム等の改修について

本会議及び委員会のスムーズな進行を保持するため、また、公の記録として会議録を正確に記録することは重要なことであるため、議場及び第1会議室の音響システムの改修を予定しております。

改修理由

旧システムは平成8年導入で、近年マイク機器及び周辺機器等において不具合が生じています。また、一部の機器・備品は既に製造中止で故障に対処できないためです。

現在の録音機はアナログ式を使用しており、今後はカセットテープの入手が困難になることが予想されるため、デジタル式へ移行することで作業の効率化を想定しています。

改修に伴う費用

全体費用	1,446万9千円
費用内訳	
消耗品費	9万7千円
備品購入費	1,437万2千円

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

編集後記

伊達市は今年、市政施行四十周年の記念すべき年にあたります。昭和四十七年、人口三万人以上の特例市として市政施行以来、道路や上下水道の整備、中心市街地の活性化等の都市基盤整備を進め、福祉のまちや北の湘南としてのまちづくりをはじめ、教育や文化にも力を入れ、活力ある産業の振興にも努めて、今や西胆振の中核都市として存在価値を高めているところであり、八月二十三日に記念式典が行われます。

今年オープンした、伊達市総合体育館、観光物産館、まなびの里パークゴルフ場は、いづれも盛況でありますし、伊達駅前再開発事業も着々と進められて今年の秋には、駅前団地一号楼が入居予定となっております。

伊達市議会は昨年より定数を四名削減して十八名になりました。当市議会には議会基本条例はありません。その理由は当市議会には既に平成五年に、伊達市議会倫理綱領、平成十一年には、先例集が作られていたからであり、議員はこれらを基本として活動しているところですが、現在議会では、予算・決算の特別委員会を常任委員会としてはどうか、この市議会だよりの臨時号の発行、広く市民の意見を聴く広報広聴のあり方、等々未だ結論は出ていませんが、論議を重ね議会改革にも取り組んでいます。

小泉 勇

広報特別委員会 (8人)

- 委員長 吉野 英雄 副委員長 辻浦 義浩
 委員 菊地清一郎 犬塚 貴敬 小久保重孝 国本 一夫 原見 正信 小泉 勇一